

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会

# OB 通信

平成 12 年 7 月 No. 1

発行：〒753-0831

山口市吉田1677-1

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部 OB 会事務局

## ○はじめに

山口にも本格的な夏の到来を告げる梅雨明けが宣言され、蟬時雨も日に日に騒がしくなっ  
て参りましたが、OB の皆様方におかれましてはお変わりなくお元気でしょうか。3 年生以下  
現役部員たちは約 1 ヶ月後に迫った

夏合宿に向け毎日汗を流しております。残りの時間を有効に利用し、最高の夏を過ごしてほ  
しいと思っております。

さて、OB 会は、平成 12 年度がスタートし、昨年度事務局を務められました福山英生氏の  
後任としまして、今年度は私、有馬啓介(人文学部 前主将)が事務局を担当させていただく  
ことになりました。何かと行き届かないことがあるかとは思いますが、御指導、御鞭撻のほど  
よろしく願い申し上げます。尚、OB 会についての御意見、御質問等ございましたら下記の  
連絡先までお願いいたします。

有馬 啓介

## OB 会の活動について

### (1)OB 総会－平成 12 年度活動方針

平成 12 年度 OB 総会が、去る平成 12 年 1 月 8 日に山口市内の太陽堂旅館にて開催され  
ました。この総会では、

- 1 繰越金の使用方法(現役部員への備品援助等)
- 2 OB も参加できる OB 会作り(ホームページ作成など)
- 3 統合を視野に入れた工学部 OB 会との関係

といった議題を中心に議論が行われ、御意見を多数いただきました。①、②については検討中ですが、③については統合に向けて進展しております。詳細は(4)本部OB会と工学部OB会を御覧下さい。御理解のほどよろしく願います。また、同日行われました追コンにも多数のOBの方々が御出席して下さいました。誠にありがとうございました。

本年度は山口大学体育会ワンダーフォーゲル部創部40周年にあたる節目の年です。本年度のOB総会は40周年記念行事が行なわれる11月上旬に予定しております。総会の議案は「工学部OB会との統合について」を考えております。皆様振るって御出席下さりますようお願い申し上げます。尚、詳細につきましては、(5)40周年行事並びに平成12年度OB総会の御案内を御覧下さい。

## (2)OB会費

今年度のOB会費の納入をお願いいたします。尚、1年分納入と、5年分一括納入の2種類ありますので、どちらかでお支払い下さい。

1年分会費 \_\_\_\_\_ 2000円

5年分会費一括納入 \_\_\_\_\_ 10000円

尚、納入先については以下のようになっております。昨年度までは第一勧業銀行も納入先でしたが、利用者がいらっしゃらないこともありまして今年度からは郵便局のみとさせていただきます。御了承ください。

郵便局：01530-0-16050

山口大学ワンダーフォーゲル部

尚、郵便局の振込用紙を同封しましたのでご利用ください。

※会費を口座に振り込んで下さる際、口座引き落としにされると当方に明細書は届くのですが、振り込まれた方の御名前が通知されず、当方で確認が取れません。払込用紙を使って振り込んでいただくと、その払込用紙のコピーが当方に届きますので、お手数ですが払込用紙を使って会費を納入して下さいますようお願い申し上げます。

※ 下記の方は一括納入されているため、払込用紙を同封しておりません。( )内の数字はその年度分まで会費を払われているということです。

※工学部OBの方には払込用紙を同封しておりません。工学部OBの方のOB会費納入については、本年度のOB総会で回答を出したいと思っておりますので、申し訳ございませんがそれまでお待ち下さい。

### (3)平成 11 年度会計報告

平成 11 年度分会費	¥ 1 7 8,0 0 0	
支出	¥ 1 0 6,2 5 3	
OB通信第一号発行関連費		¥ 4 6,2 2 8
会費催促状関連費		¥ 1 2,9 8 7
OB通信第二号発行関連費		¥ 4 4,4 1 8
OB総会費		¥ 2,6 2 0
<hr/>		
差額	¥ 7 1,7 4 7	

OB会名義通帳残高 ¥ 9 0 5, 3 9 4  
(うち一括納入分会費 ¥ 4 0 3,0 0 0)

### (4)本部 OB 会と工学部 OB 会

本部 OB 会と工学部 OB 会の統合の話が持ち上がったのは、前述しましたように、昨年度の OB 会でした。その理由として、工学部 OB 会が長い間機能していないということが挙げられます。実際、工学部 OB の方々からも OB(本部 OB も含む)や現役部員の近況を知りたいとの声が揚がっているようです。本部ワンダーフォーゲル部と工学部ワンダーフォーゲル部はそれぞれが体育会、学友会という異なった団体に所属しており、活動も別々に行うことが多いのですが、創部の過程や同じ大学内にあるということを考えましても、両部は二卵性双生児の関係にあるといっても過言ではないと思います。OB 会の統合は、OB の皆様方にとっても、現役部員にとりましても山口大学ワンダーフォーゲル部の更なる発展を考える上で有益であると考えます。本年度の OB 総会で承認を得ることができましたなら、その報告を第 2 号(12 月発行予定)で行います。御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

### (5)40 周年記念行事と平成 1 2 年度 OB 総会の御案内

山口大学体育会ワンダーフォーゲル部は今年度は創部から数えて 40 年目となります。そこで本部と工学部が合同で 40 周年記念行事を下記の通り開催いたします。OB と現役部員とが共に山行し 40 周年を祝うという貴重な機会ですので、どうかお誘いあわせのうえ、御参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

#### 40周年記念行事

[日時] 平成12年11月3日(金・文化の日)

[場所] 東方便山 午前9時山大ワンゲル(山口)BOX 集合  
午後4時BOX 到着予定

※東方便山登山で、肩にてエッセンを作ります。

※雨天のときは学内での企画(午前9時～)を予定しています。

また、同日、平成12年度OB総会を下記の通り開催いたします。本部OB会と工学部OB会の統合を議論する重要な総会となりますので、御多用中のところ恐れ入りますが、万障お繰り合わせの上御出席のほどよろしくお願い申し上げます。特に工学部OBの皆様、よろしくお願いいたします。

#### 平成12年度OB総会

[日時] 平成12年11月3日(金・文化の日)

午後6時～午後8時

[場所] 太陽堂旅館(山口市道場門前通り、083-922-0897)

[議案] OB会の統合と今後の活動について

OB総会后、次のように40周年記念コンパを行います。是非御参加ください。

#### 40周年記念コンパ

[日時] 平成12年11月3日(金・文化の日)

午後8時～午後10時

[場所] 太陽堂旅館(山口市道場門前通り、083-922-0897)

※お手数ではございますがご出欠席は、同封いたしましたハガキにて8月末日までにご返信下さるようお願いいたします。

尚、ご出席される方には後日郵送にて詳細をお伝えいたします。

※同日夜の宿泊(太陽堂旅館)を希望される方は、当方で手配しますので有馬まで御連絡ください。後輩の下宿もどんどん利用してください。もちろん、タダです。

## (6)OB会名簿

今年度のOB会名簿を作成しましたので同封いたします。付録として現役部員の名簿も付けましたのであわせてご利用ください。尚、記載に誤りがありましたら事務局までご連絡ください。

また、この名簿には空欄が多く、これらの方々にはOB通信を送れない状況にあります。特

に工学部 OB の方々は長い間 OB 会の活動が滞っていたこともありまして現住所が不明な方がほとんどです。同期または同地域の方でご存知の方がいらっしゃいましたら、御一報下さりますようお願い申し上げます。

## (7)新 OB 紹介

—本部第 38 期卒部式並びに追コン無事終了—

—工学部第 36 期卒部式並びに追コン無事終了—

去る平成 12 年 1 月 8 日に山口市内の太陽堂旅館で本部卒部式並びに追コンが、また、1 月 15 日に工学部卒部式並びに追コンが行われ、計 9 名の先輩方が古巣山口大学ワンダーフォーゲル部を飛び立たれ、OB 会の仲間入りをされました。皆様のますますの御活躍をお祈りいたします。

## (8)OB 通信

次回の OB 通信は、夏合宿と OB 総会の報告を中心に、12 月頃発行の予定です。

# 現役部員近況報告

## 本部編

### 99 春合宿報告

#### 1)九重 Party

あの春合宿が終わり、九重オッチェン Party が解散して 4 ヶ月が経とうとしています。今振り返ってみると、Party 行動を行った約 3 ヶ月間は嵐のように過ぎ去っていった 3 ヶ月間でした。

雪山に行きたい、もう一度山大ワンゲルを雪山合宿の行うことができる部にしたい。そんな思いが今回の春合宿を計画した根底にありました。しかし、ここ数年間タブーと考えられていた雪山に挑戦すること、そして、PL である自分自身が雪山の経験がないことなどから、合宿自体とそれまでの準備が必ずしも一致しないという変則的な Party となってしまいました。3 月下旬の九重連山は積雪の可能性がほとんどないのに雪山 Party として Party の活

動を進めていきました。

夏から秋にかけてアマチュア無線の免許を取得したり、大山元谷付近に調査 W に出かけたりと徐々にではありましたが、形が出来上がっていきました。そして、冬期休暇中に宇部山岳会の人たちの恐羅漢(広島県)への山行に同行させてもらいました。P-mee では雪崩や雪山におけるセルフレスキューを学ぶのに多くの時間を当てました。そのようなことをしているうちに自分たちの Party の独自色が生まれてきました。

雪上訓練は十種ヶ峰と大山でそれぞれ 2 回行いました。それぞれの山行で雪質が異なり大変勉強になりました。2 回目の十種ヶ峰は 1 m 近い軟雪でワカン歩行でも苦労しました。しかし、そのおかげでテン場ではきれいなイグルーができました。大山では雪の弱層が確認できましたし、表層雪崩が発生した跡もありました。6 人が全員入れる雪洞を作り、そこでエッセンを食べました。この 4 回の雪上訓練で雪山では何よりも経験が必要であるということを感じました。

そして、ついに九重での合宿が始まりました。

3/21(火) 快晴 この日はアプローチ。鈍行列車で豊後中村駅へ。由布岳はとても大きかったです。タクシーで泉水キャンプ場へ。タクシーのおじちゃんが「この辺は九州の北海道じゃけえね。」と言っていました。

3/22(水) 晴れ 涌蓋山に向いました。気持ちのよい草原でした。九重連山が遠望できました。下山後、テン場で犬のマロンと仲良くなりました。

3/23(木) 晴れのち雨 この日の行程は 1 時間半、牧ノ戸温泉までです。この日は山口では卒業式でしたので、長者原で卒業生宛にハガキを送りました。

3/24(金) 曇りのち晴れ 今日はついに久住山、そして、坊ガツルです。

途中の西千里浜では周りの山々の樹氷が本当に綺麗でした。久住山山頂は -6 度。しかも立てないほどの強風。中岳ピストンは諦め、僕たちは長者原へ向いました。

3/25(土) 快晴 この日は大船山に行く予定でしたが、坊ガツルの山焼きのため三俣山に向いました。途中のすがもり越にはもうすでに小屋の跡しかありませんでした。三俣山も朝早いこともあって樹氷が綺麗でした。温度計は -10 度を指していました。山焼きで坊ガツルは一瞬にして黒い原となりました。

3/26(日) 晴れのち曇り 大船山山頂、朝日を浴びた九重の山々が美しく、阿蘇・祖母の山並みは大きく気持ちがよかったです。平治岳は静かな山頂でした。法華員温泉山荘では名残雪が降っていました。

3/27(月) 晴れ 最終日。ゴールの久住町役場までは結構距離がありました。合宿終了。なんと、坊ヶツルで仲良くなった九大ワンゲル OB の方に下山ビールをごちそうになりました。なにを思ったのか酔った勢いで僕たちは役場の前で手を振りながら大きな声で旅鳥を歌っていました。

九重という思い出の地でワンゲル最後の合宿を終えることができたのは私にとって大きな喜びでした。



たり、雪が夜のうちに積もってしまったりして3回もエスケープしてしまったからです。そのため、なかなか錬成を終えることができませんでした。PLの私としてもとてもつらい錬成でしたが、それ以上にP-menもきつかったと思います。しかし、やっと錬成を終えたときの喜びといったら言いようがないほどうれしくて、この上ない達成感があり、これで西表に合宿にいけるといふ思いでいっぱいでした。

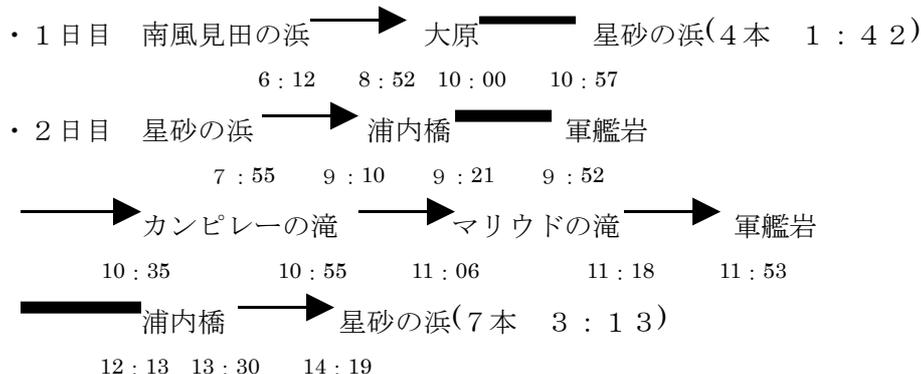
山口を出発し、2日間のアプローチを経て、私たちは念願の西表島に到着しました。さすが南国という雰囲気をかみしめながらみんなで歩いていると、2人の警察官に呼び止められました。話によると、女子学生が2人、日帰り横断しようとしたが、下山予定日を過ぎても帰ってこないということでした。空を見上げるとヘリコプターが飛んでいて捜索をしていました。詳しく話を聞いてみると、川が増水しているの流されたのかもしれないということでした。どのくらい増水しているのかを尋ねて見ると私たちの背丈以上はあるらしくて、渡渉が多い横断のコースを私たちが行くことは危険であると思いました。いろいろ考えた結果、私たちは横断をするのをあきらめることにしました。事前に多少増水しているということ把握していたのですが、まさか背丈以上にまで増水することをあまり想像していなかったのはPLとしてのミスだと思います。もう少しよく考えていれば、もう少し充実した合宿となっていたと思います。

以上のことをお読みになったらこの合宿は結局何もせずに終わってしまったのかとお思われるかもしれませんがそうではありません。西表横断はできなかったのは残念ですが、得たものはたくさんありました。私は持久力を養うためにP-トレに縄跳びを導入しました。最初はとてもきついものでしたが、回数を重ねるごとにだんだん慣れていき持久力がついたという実感が湧きました。これはP-menにとっても好評でマンネリになりやすいトレに新鮮味を与えてくれました。また、P-menも錬成などの困難を乗り越えるごとにまとまっていき、雰囲気もよく、みんなで私を助けてくれました。私がPLとしてやれたのもP-menのおかげでとても感謝しています。

全体的に見れば、とてもすばらしい合宿でした。最後に、私たちのことを応援してくださったOB、OGのみなさん、本当にありがとうございました。

### PL 大宅 貴子

#### コースタイム



合計 11本 4 : 33 うちサブザック行動 3 : 13  
1泊2日 ー バス ー 船

### 3) サバイバル Party ～トカラ列島・中ノ島～

平成 12 年 3 月 10 日～14 日

サバイバルといえばオッチェンが行くもので、豪快だというイメージがありました。しかし今年には PL がメッチェンの上に、P-men 5 人のうち 3 人がメッチェンという構成で合宿に臨みました。もちろん釣りを経験したことのある者は少なく、全くゼロの段階からのスタートでした。

また、サバイバル合宿で例年議論の的となるのは、1 日のほとんどを釣りをして過ごすため、Party の雰囲気が出るという問題をどう解決するかということです。その問題を打開するために色々な活動内容を考えて、一日のスケジュールを組み立ててみました。主に新しく取り入れてみたものとしては、魚の味噌漬け、日干し作りや山菜の漬物作り、そして笹茶作りなどです。それらの工夫をしてみることでその問題が解決されたかどうかは一概には言えませんが、自分たちが採取したもので何かを作るということで少しやりがいを感じたようではありました。また、それ以外に工夫したことは、はじめのある行動をするために自分が PL として P-men に厳しくするということでした。どちらかというとおとなしい Party でしたが、それぞれがみんな私のことを助けてくれ、とても心強かったです。

昨年は米も味噌も醤油も何も持っていきませんでした。今年は味噌のみ持って行きました。そして今までのサバイバルは魚の餌は持っていかなかったのですが、釣果に乏しかったので魚肉ソーセージを餌の代わりにしてみました。しかし、P-men 5 人とも釣りはほとんど未経験だったこともあり、思ったほどの効果はありませんでした。おかげで全員空腹で、足元もふらふらでしたが、何とか無事終えることができました。

来年度もサバイバルを計画するという予定があるということですが、計画を立てる人にはサバイバルという形態で合宿をするにはそろそろ限界が近づいているということを感じておいて欲しいと思います。

PL 河名 尚子

## 第 39 期執行部を終えて

今年 3 月をもちまして、一年間の執行部としての活動を何とか無事終了するに至りました。これも諸先輩方の暖かい御助言、御指導があったからこそだと大変感謝しております。

第 39 期執行部はオッチェン 2 名、メッチェン 2 名の計 4 名でこの一年間、部の運営をしてきました。私たちが山口大学体育会ワンダーフォーゲル部の門を叩いた年、同期は 6 人でした。2 名が 2 年に進級したのと同時に工学部ワンダーフォーゲル部に仲間入りしました。約

2年間同じメンバーで1年生のときから「僕たちは4人しかいないんだ」という気持ちを各自が持っていたので執行部内の結束を固めるのは容易でした。しかし、いざ部を運営することになると、その難しさに何度も悩みました。私たちを育ててくれた先輩方の偉大さを改めて感じたのもこのときでした。

私たちは「素晴らしき出会いを求めて」という目標を掲げました。部則にもあるように部の目的の大きな柱は人間的成長にあると考えたからです。もう一つの理由として私たちは2つの合Wを主管する予定であったということが挙げられます。二つの合Wというのは県内合同ワンデリングと中四国合同ワンデリングです。県合は無事行うことができましたが、中四合Wは平成11年度のOB通信No.1で第38期主将の福山さんが書かれているように残念ながら中止という結果になってしまいました。そして、部員の減少により中四合Wの主管を行える地区も数少ないという理由もあって、今後中四総会において次の中四合Wの主管の依頼は行わないということが可決されました。外部からの圧力があったとはいえ、具体的な行動をとることができず、中・四国のワンダラーの貴重な交流の機会を奪ってしまったことに責任を感じています。また伝統ある中四合Wを後輩に引き継いでもらうことができず、先輩方には大変申し分けなく思っています。後輩には何らかの形でワンダラーの交流の場を設けて欲しいと思っております。

中四合Wは残念な結果となりましたが、99年度は久しぶりに復活した行事が多かったように思えます。夏合宿後、安曇野で集中を四年ぶりに行いました。えんじ色のユニフォームにニッカズボンをはいて夜遅くまで仲間と酒を酌み交わしながら合宿の思い出を語り合いました。忘Wも私たちは初めて経験しました。四年生の先輩方は数々の思い出を作ったあの東鳳翻山でちゃんちゃんこを着て豪快にお酒を飲みながらワングル部員としての最後の山行を楽しんでおられました。

やはり特筆すべきことは80km耐久徒歩が復活したことです。工学部には感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に合宿について述べておきたいと思えます。夏合宿は日本アルプスで行いました。南アルプスPartyは全コース消化することができましたが北アルプスPartyは残念ながら全コース消化することができませんでした。しかし、三年生として初めての合宿であったため、今までとは違った多くのことを学びました。それは最上級生としての厳しさ、そして喜びであったのかもしれませんが、1、2年生はよく頑張ってくれました。

春合宿は3Partyがそれぞれのフィールドに分かれて行いました。ここ数年間山大ワングルの春合宿は過渡的なものであったように思えます。その理由として春合宿は夏合宿と違い、各Partyがさまざまな活動を行うがゆえに、部全体としての確固たる目標を掲げることができなかつたということが挙げられます。これは多様な自然と向き合うここ数年間春合宿の利点でもあり、欠点でもあるといえるでしょう。3Partyとも違った形式の合宿となりましたが、一つの共通の目標を設定しました。すべてのPartyのすべてのP-menが雪のついた山を経験するということでした。結局、すべての部員が十種ヶ峰と大山で2回以上の雪上訓練

を経験しました。後輩にはこの経験を今後のワングル活動に生かして欲しいと思います。各 Party の春合宿の具体的な内容や結果については各 PL からの報告を御覧下さい。すべての行程を行うことが出来なかった Party もありましたが、それぞれの Party が特色ある Party 活動が行えたのではないかと思います。

自分は一年間主将を務めてきました。そして今は一人のワングル部員として部を見守っています。夕方の一瞬、遠くから後輩たちの元気な掛け声が聞こえてくると、一年間がんばってよかったと感じるのです。

第 39 期主将 有馬 啓介

## 第 40 期執行部近況報告

### 1) 新執行部紹介

今年度の新役員、係を紹介します。

主将：sakima (理 3)

副将、オッチェントレーナー、装備、衛生、山行技術

：田部 芳樹(農 3)

主務・渉外、エッセン、記録・図書：下村 公子(教 3)

会計、メツチェントレーナー、衛生：有富 史子(人 3)

去年に引き続き 4 名という少人数ですが、ワングルを心から愛するしっかりとした者ばかりです。これからも暖かく見守ってください。よろしくお願いします。

### 2) 新ワンダラー誕生！

今年はオッチェン 3 名、メツチェン 1 名、計 4 名がワンダラーの仲間入りをしました。例年に比べ少なく、少々寂しい気もしますが、個性豊かな元気者ばかりです。今後の彼らに期待しましょう。

今年度の部員数は以下の通りです。

	1 年	2 年	3 年	4 年	計
オッチェン	3	3	2	2	10
メツチェン	1	2	2	2	7
計	4	5	4	4	17

### 3) 第 40 期執行部スタート！！

自分たちの執行部が始動して3ヵ月半。夏合宿のParty行動も始まりました。名実共にワングル最大行事の夏合宿は完璧な形で成功させなければなりません。安全に行うのはもちろん、1、2年にワングルの「良さ」を教えることも自分たちの役目と思っています。

いきなりこのようなこと書いたのも、自分たち執行部は、ワングルのより良い方向を摸索することを昨年の新執行部承認部会の時に掲げていながら、実際に執行部を持ってみて、今まで行なわれてきた行事をこなすだけでも大変なことを痛感しているからです。

現在のワングルの部員数は4年生4名、3年生4名、2年生5名、1年生4名の計17名です。部員数は明らかに減少、その理由のひとつに退部者の増加があります。この3ヵ月半の間に2年生2名、1年生2名が去っていきました。先輩方が危惧したとうり、人間関係が希薄になったことも原因の1つでしょう。これについては自分たち執行部も十分反省をしなければなりません。

さて、実際の部員の状況ですが、新入生は数は少ないものの、全員とにかくポジティブなのがうれしいです。1年生4名中、工学部2人ということで、彼らが執行部を持つときには自分たち以上に厳しい状況になることは確実なので、特にしっかり指導して、立派なワングラーに成長させたいと思います。

部の行事のほうは、一次錬も何とかケガ人もなく終え、リーダー養成のほうも順調に進んでいます。また、今年から前期試験が夏休み前にずれ、夏休みは8月1日からになります。そのため夏合宿は盆明けの8月17日から開始の予定です。日程的には例年より若干余裕が出てきましたが、その分だらけることなく、充実した夏合宿前の活動になるように気をつけたいと思います。

自分の他の3人の執行部員と早朝から集まったり、夜遅くまで話し合いをすることで、1人1人では解決できない悩みも少しずつ何とかなってきています。2年生もよく協力してくれ、頼もしく思っています。自分はこの部にいることが本当にうれしいのです。これから、まずは夏合宿を目標に、3人の仲間と後輩と共に、今は前だけを見て歩いていきます。

第40期主将 sakima

## 4)平成12年度夏合宿コース紹介

### ○—東大雪～表大雪—

北海道の雄大な自然を求め、12年度夏合宿は大雪山に行くこととなりました。今年度も昨年度に引き続き、部員数減少のため、2Partyでの合宿です。

自分のPartyは東大雪・石狩連峰から表大雪を縦走し、最後に北海道最高峰、旭岳のピークを踏んで下山するルートを取ります。南アルプスを思わせる重厚な石狩の山魂から夏合宿はスタートします。一番初めにルート中最もきつい登りがありますが、これをこなして自信をつけたいものです。

東大雪と表大雪をつなぐ縦走路、通称根曲がり廊下。根曲がり竹が作るトンネルが延々と

続くブッシュとなっており、このコースの最大の難所であり見どころでもあります。この部分のために、ノーマルコースでの錬成を行う予定です。根曲がり廊下を抜けると表大雪に入り、大湿原沼ノ原、お花畑五色ヶ原から石狩連峰の雄姿を振り返りつつ、さらに北上していきます。忠別岳、白雲岳、北海岳、黒岳、北鎮岳、間宮岳と縦走し、最後のピーク旭岳ですべてのコースを見渡すことができれば感激もひとしおでしょう。

山中6泊7日、総コースタイム約35時間、ピストン2時間のコースです。この夏合宿は自分にとっても初めての北海道とあって考えただけでもワクワクしてしまいます。と同時にいろいろ不安も浮かんできますが、出発のときまでには万全の準備をして旅立とうと思います。

3年2人、2年2人、1年2人の計6人、ワングルはやっぱり素晴らしいと心から思えるよう、この夏を生きていきます。

PL sakima

#### ○田部 Party より ー表大雪～十勝連峰ー

自分の Party は表大雪の旭岳から登り、そこから十勝連峰の十勝岳まで縦走し下山する6泊7日の行程です。このコースは最後のテン場である美瑛富士避難小屋の水場が涸れる可能性があり、その場合、テン場を飛ばして十勝岳まで行かず、そのまま下山します。

このコースの見どころはやはり4日目にいくトムラウシ山とその周辺であると思います。トムラウシ山は日本百名山にも数えられ、またその周辺は独特の地形と植物とが非常に美しく、また雄大さを感じる場所です。

P-men は3年2人、2年3人、1年2人の計7人です。P-men 全員を楽しませるため、また人間性を養うために全員が一丸となって合宿を大成功させようと思います。また、今回の合宿は僕たち3年生にとっては最後の夏合宿でもあるので、決して悔いのない最後の思い出となる夏合宿にしようと思います。

PL 田部 芳樹

## 工学部編

### 99 春合宿報告

#### サバイバル合宿 ～波照間島～

我々工学部は、3/10～16、4泊5日で波照間島にてサバイバル合宿を行いました。昨年度は部員である3年生、2年生がそれぞれ1人でしたので、ふたりで釣竿と味噌を持ち、波照間島に向いました。天候は沖縄の異常気象により全体的に曇りか雨でしたが、晴れ間が差した時の何とも言えない青い海に感動したのを今でも思い出します。エссенは魚が一日あたり1～2匹でしたので、魚と雑草？で味噌汁を作り、貝やヤドカリなどを焼いて食べました。ウミガメが砂浜にいたりもしました。今回の合宿では今までにないことを多く経験しました。

‘考える’これが今回のテーマでした。大海原の前で今のこと、これからのこと、いろいろ考えました。海の前では考えがまとまりすっきりしました。きついこともありましたが、いい合宿だったと思います。

PL 佐伯 英敬

## 復活!!第1回 80km 耐久徒歩無事終了

平成11年11月6、7日に萩、工学部間で行われました。この準備のために工学部の刀根実行委員長は1年も前から調査Wなどをしてきました。

○参加者より

辛くて辛くて何度間立ち止まろうと思いました。本部の人、下関市立大の人たちの声が何よりも励みになりました。空には星が綺麗でした。体の傷は1週間治りませんでした。刀根君ありがとう。

四年 姫野 康平

本年度の80km 耐久徒歩について

昨年、無事に80km 耐久徒歩を終えることができました。そして今年も80km 耐久徒歩を行いたいと思います。今年はOBの方にも参加していただきたいと思っています。日時は今のところ10月28日(土)、29日(日)を予定しています。ぜひ御参加下さい。

日時 平成12年10月28日(土)、29日(日)

内容 萩を午前0時に出発、工学部ゴール

御手数ですが、同封いたしましたハガキに参加の有無をご記入ください。参加される方にはこちらより郵送をもって当日の詳細を御連絡します。

復活!!第2回実行委員長 佐伯 英敬

## 第37期執行部を終えて

都合により間に合わず、掲載することができませんでした。次号で掲載する予定です。御了承ください。

## 第38期執行部近況報告

### 1)新執行部紹介 ～新たに2名が仲間入り～

今年は2年生が2名、工学部ワンゲルの仲間入りをしました。今年度の執行部の役員、係を紹介します。

主将、会計、トレーナー：佐伯 英敬(3年)

気象、記録・図書：原 和義(2年)

装備、衛生、エッセン：吉田 拓也(2年)

このメンバーで今年も工学部は驀進間違いなしです。期待しましょう。

## 2)第38期執行部スタート!!

今年は生きのいい2年生が2人入り、新歓コンパ、リーダー養成と日に日に精神的にも体力的にも強くなってきています。夏合宿は工学部3人で台風を吹き飛ばすくらいの気合を入れて楽しむことができます。

第38期工学部主将 佐伯 英敬

## 3)平成12年度夏合宿コース詳細

○ 南アルプス ー 白峰三山～塩見岳～荒川三山～赤石岳ー

日本第2の高峰北岳から南アルプス南部の重鎮赤石岳を目指します。

6泊7日の行程です。8月19日出発の予定です。がんばります。

PL 佐伯 英敬

## 第36回県内合同ワンデリング

5月3、4、5日に秋吉台家族旅行村にて県合を行いました。主管の山大工学部、宇部高専、宇部短の6人が実行委員長、佐伯(工学部3年)を中心に準備をしていきました。今回のテーマは‘親睦旅日記’。2年ぶりに下関市立大学にも参加してもらい、県内の親睦が深まるきっかけとなればと期待し、このテーマを掲げました。山行を龍護峰、若竹山で行い、運動会は各パーティーに分かれて行い非常に白熱し、見ていても楽しめました。また、キャンプファイヤーも盛り上がりました。今回最も問題となったのが一般の方の苦情でした。今回の県合も例年どおりの盛り上がりを見せ、楽しんでもらったと思いますが、苦情のためこちらから参加者に注意するといったことが多々ありました。この事をはじめ、実行委員の立場からの県合は、これまでの県合と違い‘たのしい’ではなく、‘がまん’でした。怒らず、何事にも‘がまん’といった県合でした。改めて、これまでの実行委員をはじめとする先輩方には御迷惑をおかけしたなと思いましたが、ただ県合を行ったことは、これから部を運営していく自分にとって本当によかったと思っています。最後に助言をして頂いた先輩方、本部役員には本当に感謝しています。いつまでも県合を続けてもらいたいです。

### 第36回県内合同ワンデリング実行委員長 佐伯 英敬

#### ○BL より

今年の県合は秋吉台の家族旅行村で2泊3日で行われました。自分はBLを務めさせていただきました。はじめは県合を盛り上げていけるかどうか不安でした。そのため気負いすぎ開会式までに少し暴走してしまい、本部の方々に迷惑を掛けてしまいました。2日目には自分のブロックは若竹山、他方のブロックは龍護峰でそれぞれ山行を行いました。そしてその後、昨年と同じく運動会を行いました。運動会ではそれぞれのパーティーが夜のエッセンを得るために白熱したバトルを繰り広げ、予想以上に盛り上がる事ができたように思います。

本部の皆さんや各PLさんのおかげで県合自体は盛り上がり、大成功であったと思います。自分はBLとして足りないものがあつたように思います。この反省を活かし、今後の活動に取り組んでゆこうと思います。

BL 田部 芳樹

## OB 近況報告

- ♡ 本部第31期(平成4年度卒)の笠間(旧姓守田)博子さんが御結婚されました。おめでとうございます。
- ♡ 本部第34期(平成7年度卒)の加藤(旧姓田中)由貴子さんが御結婚されました。おめでとうございます。
- ♡ 本部第35期(平成8年度卒)の児玉典央さんと藤原友香さんが御結婚されました。おめでとうございます。

- ・本部第22期(昭和58年度卒) 垣田章夫氏「西表でボートをやって下さい。上原の焼物屋高山さんに会うといいです。」
- ・本部第7期(昭和43年度卒)、磯部(旧姓中野)滋子さんが他界されました。(同期のOBの方に確認) 御報告が遅れ大変申し訳ございません。謹んで御冥福を御祈り申し上げます。
- ・本部第24期(昭和60年度卒)、三好(旧姓松島)和子さんが昨年7月に他界されました。(御家族の方より御連絡がありました) 謹んで御冥福を御祈り申し上げます。

## 編集後記

平成12年度夏のOB通信が出来上がりましたのでお届けいたします。今回より本部、工学部合同のOB通信となりました。これを機会により一層のOB会並びにOB通信の充実を図っていこうと思っております。そのためにはOBの皆様方の御協力が不可欠です。近況報告、同窓会の予定、OB会に対する御意見、御感想、現役部員に対するメッセージなど、どんなことでも構いませんので、ぜひOB会事務局の方へ御一報下さい。OB通信を活用されて下さい。

今年度から前期試験が夏季休暇の前に行われることにより、夏合宿が7月下旬から8月下旬に移動しました。現役部員たちは夏合宿の準備を進めながら、盆地山口の暑い夏を満喫していることでしょう。私もここ3年間最も暑さ厳しい時期は3000mの稜線の上を散歩していたので、今年は少しおかしな気分です。4年生にもなりますとめっきり山に行く機会も減ってしまいそろそろ‘山恋(やまこい)’が始まりそうです。卒業論文の資料集めという立て前で夏の終わりにアルプスにでも行ってみようかと考えております。

いよいよ本格的な暑さに向います。今年の暑さは格別でございますが、くれぐれもご自愛ください。

平成12年 盛夏 OB会事務局 有馬 啓介



**Y.U.W.V.**